

本号では「髄外腫瘍の手術を極める」と題し、神経鞘腫や髄膜腫に代表される髄外腫瘍に対する手術について、実践的な戦略や工夫をまとめていただいた。良性病変であるがゆえに根治性と機能温存の両立が求められる本病態において、いかにして安全かつ確かな手術を遂行するか、そのための思考と実践の積み重ねが凝縮された内容となっている。

髄外腫瘍の代表である神経鞘腫や髄膜腫は、その解剖学的位置により手術難易度が大きく異なる。とりわけ、ダンベル型腫瘍や脊柱管腹側に発生する病変においては、腫瘍の進展範囲や周囲構造との関係を的確に把握し、アプローチの選択、脊柱安定性への配慮、さらには硬膜処理や髄液漏予防策など、多くの観点から術前計画を練る必要がある。術中の柔軟な判断、術後合併症の回避も含め、各局面で術者の熟慮が問われる領域である。本号では、頸椎から腰椎にいたる脊柱各部の特徴を踏まえたうえで、局在別・進展様式別に実践的な工夫や戦略を取り上げている。腫瘍が脊柱管内外にまたがるダンベル型形態を示す場合や、椎間孔外・胸腔内へ進展する場合、さらには腹側硬膜から発生する髄膜腫に対しても、それぞれに応じたアプローチとリスク管理が求められる。そうした“迷いを生じやすい”症例への対応を、豊富な経験と洗練された技術に基づき具体的にご提示いただいた。

また、本号の特色として、文章による記述のみならず、術中写真・イラスト・連続画像・動画とQRコードの併用により、手術操作の過程を視覚的に捉えやすくする工夫を重ねたつもりである。読者の皆さまにとって理解を深める助けとなれば幸いである。

髄外腫瘍の手術においては、根治性・機能温存・低侵襲性・再発予防といった多くの課題をいかに調和させるかが問われることがある。本号を通じて、さまざまな選択肢や視点があること、そしてそれぞれの局面でどう工夫して乗り越えていくかを共有できたことは、大きな意義があると考ええる。結びに、本企画にご協力くださった執筆者各位に深謝するとともに、本号が読者の皆さまにとって日々の診療の一助となることを願ってやまない。

(中西一義)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

松山幸弘 (編集委員長)
高見俊宏 (副編集委員長)
亀山 隆 金 景成 黒川勝己
下川宣幸 高橋敏行 筑田博隆
永島英樹 中西一義 中村雅也
西田康太郎 原 政人 堀 正明

Vol. 38 No. 9
(2025 年 9 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)
(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300 円 + 税
送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 西本・山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2025,

Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。